

患者さんへ

調査研究『ポリファーマシーへの介入に関する調査』について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院では、2014年1月から2023年12月までに、鳥取大学医学部附属病院に入院された患者さんを対象に電子カルテ、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報（処方歴等）から得られる情報をもとに研究を実施しています。この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

鳥取大学医学部附属病院に入院した患者さん（特に、薬剤総合評価調整加算及び薬剤調整加算、退院時薬剤情報連携加算を算定した患者さん（＝所謂ポリファーマシーの状態（多剤併用の状態）にある患者さん）の疾患、処方歴、検査値に関する情報を基に薬物治療の有効性、安全性について調査を予定しています。2014年1月から2023年12月までに、鳥取大学医学部附属病院に入院された患者さんを対象とします。すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院薬剤部で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。本研究に参加される患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

以下の情報を集めさせていただきます。

①薬剤総合評価調整加算及び薬剤調整加算の算定件数

②薬剤師が行った処方適正化の件数、および処方内容の分析結果

例1：i) 減薬 ii) 追加 iii) 薬剤の変更 iv) 用法用量の変更 v) その他)

例2：適切処方の指標（Medication Appropriateness Index：MAI 1）による評価

例3：持参薬評価テンプレートを用いた処方評価（東大医学部附属病院作成改変）

例4：『Lexicomp®』を用いた処方の潜在的な薬物間相互作用の評価

③患者背景：年齢、性別、基礎疾患、併存疾患、服用薬剤、薬剤数、服薬コンプライアンス、社会的背景、予後、かかっている医院、医院数、かかりつけ薬局、かかりつけ薬局から得られる情報（過去の服用薬剤、服薬コンプライアンス、服薬アドヒアランス）、臨床検査値（血液検査、尿検査、生理機能検査）、アンケート結果、薬剤費

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2026年12月まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

[※匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で

情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつける対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。]

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、薬物治療の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただいた患者さんの情報が医学の発展に伴い、新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、すべての研究が終了し、最後の研究結果が論文等で発表された日から3年間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない、または鳥取大学医学部附属病院への情報の提供を停止したい場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めに希望された場合でも、担当医や他の職員と気まづくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院薬剤部の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

令和4年3月2日（第2版）

研究責任者 : 太田 友樹

住所 : 〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1 鳥取大学医学部附属病院 薬剤部

TEL : 0859-38-6937 FAX : 0859-38-6930

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL : <http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)